

「第28回日韓高校生交流キャンプ」開催報告

当協会では、『第28回日韓高校生交流キャンプ』を7月31日～8月3日の3泊4日間、韓国ソウルにて開催しました。

当協会では日韓青少年交流事業として「日韓高校生交流キャンプ」を2004年から始めて、今回で28回目、延べ2,413人の交流実績となりました。なお、キャンプ参加者はキャンプ後も交流を続け、2006年から自主的にOB/OG会を結成して、更なる交流と理解を深め合う活動を続けています。

今回のキャンプでは、日韓の高校生たちが持続可能な開発のための国際目標(SDGs)、未来モビリティについて学習し、チームでアイデアを出し合い、IT技術などを活用しながら実現に向けて協力する経験をしました。また、未来モビリティ・ベンチャー企業のCEOから起業に関する講義をうけたり、専門講師から様々なソフトウェア・AI技術を学んだり、模擬起業のため新しいビジネスチャンスを模索するなど、大学生チームリーダー、そして同年代の日韓参加者と寝食を共にしながら、相互理解、コミュニケーションの大切さを体験しました。

今回は、日本から14校・15名、韓国から14校・15人、また両国語を話せる大学生チームリーダー4名、OB/OG団体からボランティアとして2名が参加しました。

■ 参加者：日本の高校生15名、韓国の高校生15名 計30名

■ 日 程

・メタバース・オンライン・トレーニング:2025年7月12日(土)

・合宿キャンプ:2025年7月31日(木)～8月3日(日) 3泊4日

■ 場 所：韓国ソウル「ハイソウル・ユースホテル」

■ 内 容：起業体験(ソーシャルベンチャー)、研修(SW、AI、SDGsなど)、
未来モビリティ・文化体験

■ 主 催：一般社団法人 日韓経済協会、社団法人韓日経済協会

■ 運 営：韓国 アウルムユニバース株式会社、ライフアンドサイエンス株式会社

■ 協 力：株式会社JTB

■ 日程

「第28回日韓高校生交流キャンプ」日程案				
	7月31日(木)	8月1日(金)	8月2日(土)	8月3日(日)
7:00~8:00	9:30 日本学生 羽田空港 集合 羽田 12:35 発 → 金浦 14:55 着 KE2102便	起床&朝食	起床&朝食	起床
8:00~9:00		移動	事業アイテム模索	朝食
9:00~10:00		ソーシャルベンチャー企業訪問 CEOとの交流 @KT&Gサンサン・プラネット	移動	荷造り チェックアウト
10:00~11:00		KIAアンブレグッドグラウンド体験 @ソンス洞	ロッテワールドタワー 展望台の見学 &ミッション	昼食
11:00~12:00				日本学生 空港へ移動 韓国学生 解散
12:00~13:00		昼食	昼食	日本学生 金浦空港 到着 金浦 16:10 発 → 羽田 18:30 着 KE2103便 日本学生 解散
13:00~14:00		ポップアップストア体験 &ミッション @ソンス洞	移動	
14:00~15:00			未来モビリティショー (デジタル能力の強化)	
15:00~16:00			夕食	
16:00~17:00		漢江クルーズ	アイデアの具現化 (メイキング活動) 模擬ピッチの準備	
17:00~18:00			模擬ピッチ 修了式	
18:00~19:00			エンディングセレモニー	
19:00~20:00		移動	就寝	
20:00~21:00		就寝	就寝	
21:00~22:00		就寝	就寝	
	就寝	就寝	就寝	

■ 写真

- ・ハイソウル・ユースホステルの前で団体記念写真



- ・チーム1 (ロッテワールドタワー展望台)
- ・チーム2 (KT&G サンサン・プラネット)



- ・チーム3 (修了式)



- ・日本側参加者 (エンディングセレモニー)



■マスコミ紹介 (韓国 毎日経済 2025 年 8 月 4 日)

사회

한일 청소년, '미래 모빌리티'를 통해 지속 가능한 사회를 설계하다

남궁선희 기자 namkung.sunhee@mkinternet.com

입력 : 2025-08-04 15:10:02

가 ㄹ ㄷ ㄴ

『2025 한일고교생교류캠프』 성료...글로벌 시민으로의 도약

한일경제협회와 일한경제협회는 지난 7월 31일부터 4일간 서울 성수 일대에서 공동으로 주최한 한일고교생교류캠프가 지난 8월 3일, 4일 차 일정을 마무리했다고 밝혔다.

올해로 28회를 맞은 이 캠프는 한일 양국의 고등학생을 대상으로 사회적·문화적 경험을 바탕으로 한 글로벌 감수성과 협업 능력, 창의적 문제 해결 역량을 기르기 위한 한국과 일본의 대표 청소년 교류 프로그램으로 자리 잡아왔다.

참가 학생들은 3박 4일간의 합숙을 통해 언어와 문화를 넘어선 상호 이해와 신뢰를 쌓고, 지속 가능한 미래 사회를 위한 창업 아이디어를 팀별로 기획해왔다. 특히 올해의 핵심 주제는 전 세계적으로 주목받는 분야인 미래 모빌리티(Future Mobility)였다.

학생들은 AI, 친환경 기술, 사용자 맞춤형 이동 수단 등의 요소를 접목해, 인류 공동의 사회문제를 해결할 수 있는 소셜벤처 모델을 직접 설계하고 발표하는 활동에 참여했다. 이 과정에서 최신 기술이 집중되는 모빌리티 산업의 동향을 파악하고, 창업 기획-문제 정의-아이디어 구상-서비스 모델 설계로 이어지는 전 과정을 경험했다.

또한, 국내 미래 모빌리티 스타트업인 뉴빌리티(Neubility) 이주광 매니저와 함께한 특강을 통해, 실제 산업 현장에서의 혁신 사례와 기술 적용 과정을 학습하는 기회를 얻었다. 학생들은 특강 내용을 바탕으로 고객 맞춤형 이동 수단을 기획하며, 알고리즘화된 이동 시스템을 블록코딩으로 구현하는 실습도 함께 진행했다. 이는 디지털 기술에 대한 흥미와 컴퓨팅 사고력, 문제 해결 능력, 공감 능력 향상에 크게 기여했다는 평가다.



< 지난 2일 오후 '제28회 한일고교생교류캠프'에 참가한 한·일 고등학생들의 창업 아이디어를 발표하고 있다 / 아우름유니버스 제공 >

특히 지난 2일에는 참가팀들이 그동안 준비한 비즈니스 아이템을 발표하는 사업 설명회와 공식 수료식이 진행되었으며, 캠프 마지막 날인 오늘은 서로의 문화를 이해하고 우정을 나누는 교류 프로그램을 끝으로 공식 일정을 마무리하게 된다.

• <https://www.mk.co.kr/news/society/11384790>

[日本語訳]

日韓の高校生、「未来モビリティ」を通じて持続可能な社会を構想

「2025 日韓高校生交流キャンプ」成果報告——グローバル市民への一歩

日韓経済協会と韓日経済協会が共同主催した「日韓高校生交流キャンプ」は、7月31日から4日間、ソウル・聖水（ソンス）一帯で開催され、8月3日に全日程を終了したと発表された。

今年で28回目を迎えるこのキャンプは、韓国と日本の高校生を対象に、社会的・文化的経験を通じてグローバルな感受性や協働力、創造的な問題解決力を育むことを目的とした、両国を代表する青少年交流プログラムとして定着している。

参加した高校生たちは、3泊4日の合宿を通じて言語や文化の壁を越えた相互理解と信頼を築き、持続可能な未来社会の実現に向けた創業アイデアをチームごとに企画した。今年のテーマは、世界的にも注目される分野「未来モビリティ（Future Mobility）」であった。

学生たちは、AIや環境配慮型技術、ユーザーに合わせた移動手段などの要素を融合させ、人類共通の社会課題を解決するソーシャルベンチャーのモデルを自ら設計し、発表する活動に取り組んだ。この過程で、モビリティ産業における最新技術の動向を把握しながら、「創業企画 → 問題定義 → アイデア構想 → サービスモデル設計」という一連のプロセスを体験した。

また、韓国の未来モビリティ・スタートアップ企業である「Neubility（ニュービリティ）」のイ・ジュグアンマネージャーによる特別講義では、実際の産業現場における革新事例や技術の応用プロセスについて学ぶ機会が提供された。学生たちは講義内容をもとに、顧客ニーズに応じた移動手段を企画し、アルゴリズム化された移動システムをブロックコーディングで実装する実習にも挑戦。これにより、デジタル技術への関心やコンピューティング的思考力、問題解決能力、共感力の向上に大きく寄与したと評価されている。



〈写真：8月2日の午後、「第28回日韓高校生交流キャンプ」に参加した日韓の高校生たちが創業アイデアを発表している / アウルムユニバース社提供〉

8月2日の午後には、各チームが準備してきたビジネス・アイテムを発表する事業説明会と公式修了式が行われた。キャンプ最終日となる8月3日には、互いの文化を理解し、友情を深める交流プログラムを通じて、公式日程の幕を閉じた。

日韓経済協会 青少年交流センターのキム・ユージョンセンター長は、「今回のキャンプは、両国の高校生が未来社会の変化や技術の潮流を体験し、国境を越えて共通の課題に取り組むグローバル市民へと成長するための基盤を築いたという点で、大きな意義がありました」と語った。

両協会は今後も日韓青少年の継続的な交流を通じて、次世代の国際協力の基盤を強化し、未来の共同繁栄に向けた民間ネットワークの拡大に注力していく方針だ。

■参加者の感想（一部抜粋）

・緊張と共に始まったこのキャンプでしたが、今ではすぐにでも仲間のところへ戻りたいと思える、私にとって、とても大きなものとなりました。

特に最終日、モビリティ制作に向けたチームでの話し合いでは、それまでと一味違った韓国学生との交流となったため、あのような形での会議の難しさというものを痛感しましたし、私が今後目指すべきところが明確になった気もしております。

・モビリティについては、キャンプが始まるまでは知識も何もなかったのですが、さまざまな企業訪問や体験ができた事でビジネスを提案することの難しさや、社会を自分の手で良くすることへの興奮全てが新鮮で、刺激的でした。

・日韓交流キャンプを通して、国境を越えて共通する問題について考えることができました。ディスカッションやグループワークを通じて意見を交わす中で新たな視点を得ることができ、自分の中の視野が大きく広がったと感じました。なかなか思い通りに言葉が通じない場面もありましたが、身ぶり手ぶりで補い合いながら、伝える努力の大切さを実感しました。こうした経験を重ねたことで、より深い関係が築けていったのだと思います。

そして何よりも、4日間を共に過ごし協力し合ってさまざまな課題に取り組んだことで日本にも韓国にも、一生忘れられない友達ができました。国や言葉が違っていても、同じ目標に向かって努力したことや、たくさん語り合った思い出は心に強く残っています。文化の違いを超えて心が通じ合えたこの出会いをこれからもずっと大切にしていきたいと感じています。

・ピッチを作成する時、韓国語がわからない日本人と日本語がわからない韓国人が共に一

つのものを作り上げるのは大変でした。しかし互いに意見を聞こうとする姿勢、伝えようとする気持ちが伝わった瞬間一つのチームになれた感じがしました。

今回のプログラムを通じて、言語や文化が完全に伝わらなくても受け入れる姿勢や伝えようとする気持ちがあれば、どんなことでも一つになって成し遂げることができると実感しました。



・KT&G サンサン・プラネットで団体記念写真

(金 侑貞)